

# 第1章 東日本大震災の被害状況

## 1 津波災害

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模となる**平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震**が発生し、宮城県栗原市において震度 7 を観測するなど、東日本各地で激しい揺れを観測しました。

また、この地震により生じた高い津波は、東北地方の太平洋沿岸を始めとする各地を襲うとともに、福島第一原子力発電所における事故等を引き起こしました。政府は、この地震によってもたらされた災害を**東日本大震災**と命名しました。



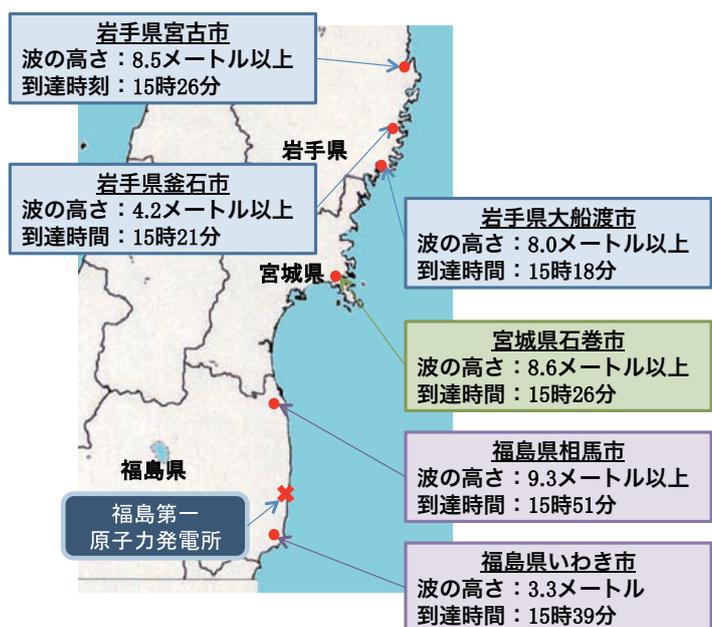
集落に襲いかかる津波 (岩手県陸前高田市)



塩釜警察署3階から撮影した街の様子 (宮城県塩竈市)

### 人的被害

東日本大震災では、地震による激しい揺れに加えて、地震発生直後から各地の沿岸に到達した大規模な津波により、甚大な被害が生じました。この津波は、東北地方太平洋沿岸部においては、**高さが9メートル以上**にもなり、川を遡上するなどして広範囲に及ぶ地域を襲いました。東日本大震災による全国の**死者は 15,854 人、行方不明者は 3,155 人、負傷者は 26,992 人**に上ります (24 年 3 月 11 日現在) が、死者の**90%以上の死因は溺死**であることが判明しています。



各地の最大の津波の高さ及び到達時間

## 第1章 東日本大震災の被害状況

さらに、津波は、家屋等の建物を破壊し、電気や水、ガスなどのライフラインを寸断したため、被災地に居住する多くの人々は自宅で生活することが困難となり、避難所等での生活を余儀なくされ、避難者の数は23年3月14日時点で約47万人に上りました。現在でも、避難所こそ全て解消されているものの、34万人以上\*の人々が、仮設住宅等での避難生活を送っています。



避難所の様子 (岩手県大槌町)

### 物的被害

津波は、多くの人々の命を奪っただけでなく、家屋を始めとする多くの建物等にも甚大な損害を与えました。東日本大震災における建物被害は、**全壊 129,107 戸、半壊 254,139 戸、全焼・半焼 281 戸、床上浸水 20,427 戸、床下浸水 15,503 戸**に上り(24年3月11日現在)、さらに、多数の道路損壊、橋梁被害、堤防決壊等が生じましたが、その多くが津波によるものと考えられます。

特に沿岸部においては、住宅街が津波に飲み込まれ、壊滅的な損害が生じただけでなく、農地が海水に浸かり、港湾設備や船舶が流失するなど、**農業や漁業等の産業基盤が大打撃**を受けたほか、広範囲に及ぶ浸水により、地方自治体や警察等の生活に不可欠な行政機関や、医療機関等の生活インフラを含めた**社会基盤全体に大きな損害**が生じました。また、浸水やがれきなどによる被災地の道路網の寸断は、救援のための物資や人員の供給や救助活動を困難なものとし、**震災直後の救助・復旧活動において大きな妨げ**となりました。



がれきに覆われた街 (宮城県多賀城市)



津波に飲み込まれた街 (岩手県陸前高田市)

\* 平成24年3月6日付け緊急災害対策本部「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について」